



インスピレーションになる

Weekly report

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30
事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402
例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820
ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121
〒451-8551 名古屋市中区樋の口町3番19号



第45回例会

2018年10月4日(木)

司会進行 現王園 陽子 会場運営委員
「君が代」斉唱 「それでこそロータリー」唱和

会長挨拶

奥村 与幸 会長



皆さん、こんにちは。

今日は、これまで2回にわたり、「つづく」としてきた職業奉仕のお話の最終回となります。今日も、酒井S・A・Aにお願いし、10分間、会長挨拶の時間を頂きましたので、しばらく私にお付き合いください。

まずは、これまでの「おさらい」を簡単にお話します。20世紀初頭のアメリカでシェルドン氏を始めとする「職業奉仕」を説くロータリアンが誕生したのは、
・当時のアメリカは、拝金主義に染まった政治経済の腐敗や不正が横行した時代であり

・シカゴでは、議会や官憲を買収したアル・カポネが実力者として君臨した時代

このような時代背景の下で、「真つ当な商売」こそが、継続的な事業の発展に繋がると考える職業人が集まったからだと前回までにお話をしました。

では、我が国では、職業をどのように考えてきたのでしょうか。まず、シカゴでロータリークラブが発足した年、1905年の日本は、前年から続いた日露戦争が1905年9月のポーツマス条約の締結を持って終結した年でした。お読みになられた方も沢山おみえになると思いますが、司馬遼太郎の代表作のひとつである「坂の上雲」に描かれた時代です。日本陸軍における騎馬部隊の創設者である秋山好古、その実弟で海軍における海戦戦術の創案者であり、日本海軍でロシアのバルチック艦隊全滅させた立役者の秋山真之、そして真之の親友で明治の文学史に大きな足跡を残した正岡子規を主人公に、新興国家である当時の日本の成長の時代を描いた小説です。これは、本題ではないのでここまでとしますが、まだ読まれていない方には、お勧めの小説です。

さて、日本での職業観は、さらに遡って江戸時代に既に形成されていました。さて、この姿は一体誰でしょうか？頭に菅笠。縞(しま)の道中合羽をはおり、

肩には前後に振り分けた荷を下げた天秤棒。これは、江戸時代から明治初期にかけて活躍した近江商人の典型的な行商スタイルです。近江商人とは、今の滋賀県に本宅、本店を置き他国へ行商した商人の総称で、大阪商人、伊勢商人と並ぶ日本三大商人のひとつです。「近江の千両天秤」とも言うように、天秤棒一本から財を成し、江戸、大阪、京都などへ進出し豪商と呼ばれるまでに発展していきました。この方が近江商人の代表的な方のひとり。初代 伊藤忠兵衛氏です。1858年(安政5年)15歳の年から行商を始め、その後、販路を次第に広めて、1872年(明治5年)には、大阪に呉服太物商「紅忠(べんちゅう)」を開店します。もともと、伊藤家は近江の特産品である「高宮かすり」や「野洲さらし」を扱う近江商人の家だったそうです。もう皆さんお分かりのとおり、この方が現在の総合商社「伊藤忠商事」の創業者、伊藤忠兵衛氏なのです。忠兵衛氏は、熱心な浄土真宗の信者であり、「商売とは菩薩の業(わざ)、商売道の尊さは、売り買い何れも益し、世の不足をうずめ、御仏の心にかなうもの」という言葉を残します。これが、後に「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしになったとも言われています。そして、忠兵衛氏が採用した経営方針が「三分利益」です。これは、店であがった利益は、「経営者」「労働者」そして「内部留保」で3分の1ずつにするとする考えで、現在でも十分通じる経営理念だと思います。資本家が労働者を搾取すると言う、原理主義的な資本主義とは全く異なる経営方針を、アメリカでロータリアンが生まれる前から、既に日本の商人はもっていたのです。しかも、「奉公人」は頑張れば頑張った分だけ報われるわけですから、より熱心に働くようになり、その結果として、利益は更に拡大することになります。余談ですので、パワーポイントには記載しませんでした。忠兵衛氏、奉公人を時には「芝居」や「大相撲」に連れていたとのです。これは現代での社員旅行ですよ。

さらに、商売の十教訓と言うのが、近江商人にはあります。これは、近江商人のビジネス・スタンスを表すものです。一説によると近江商人の中村家の家訓との説もありますが出典は不明です。しかし、随分古くからあることには間違えはないようです。時間の都合で一つずつの解説はやめますが、ここから読み解けるのは、いかに近江商人が「信用」に重きを置き、「誠実」なビジネスを心がけてきたかということ

です。さらに、時代を遡って「江戸時代中期」へ、もう少し詳しく言うと18世紀前半、八代将軍徳川吉宗の時代です。さて、映像がはつきりませんが、この方は誰でしょうか。

はい、この方は石田梅岩です。この人は、「石門心学」すなわち商人道の開祖される人物です。生まれは丹波の国、今の京都府丸亀市の百姓の次男として生まれます。1695年、11歳で呉服問屋へ丁稚奉公に出て、その後1727年に師事した在家の仏教家小栗了雲の下で勉学に励み、45歳の時に、京都の借家で無料の学問の講座を開きます。その教えは、当時の身分制度の「士農工商」の最下位にあった商人に、商人の職分、商売のあり方を説きます。具体的には、商人の職分は、「交換の仲介業であり、その重要性は他の職分になんら劣るものではない」と説きます。さらに、1739年(元文4年)55歳の時に発刊した、「都鄙問答(とひもんどう)」では、

正直、儉約、勤勉を元にした商売のあり方を示します。そして、既にこの時代に、武士道精神同様の高い精神性をもった「商人道」を確立したのです。

そして、ここで思い出してください。7月19日の会長挨拶でお見せしたパワーポイントを。ロータリーの考えるサービスとは、「持続して繁栄し発展している幾つかの企業に共通して見られる特徴」だとお話しました。「三分利益」・「十教訓」そして「都鄙問答」は、企業が持続して繁栄し発展するための考えであり、この考えをロータリアンが生まれる以前から既に表現していたのではないのでしょうか。加えて言えば、シェルドン氏の唱える「He profits most who serves best」＝「最も奉仕する者、最も報いられる」＝「最もサービスする者が、一番多くの利益を上げられる(品がない訳ですが)の「サービス」とは、「三分利益」・「十教訓」そして「都鄙問答」の理念ではないのでしょうか。

最後に結論です。職業奉仕＝Vocational Serviceの理念は、日本では江戸時代に既に存在していました。私達のDNAには、ご先祖様たちの理念が刷り込まれているのではないのでしょうか。職業奉仕とは、真つ当なビジネスを「誠実」に行い、社会からの「信用」と「信頼」を得ること。すなわち、これは、今、この会のメンバーである私たちが行っていることなのです。そして、恐れずに言えば、正当な利益を継続的に、そしてより多くあげ、納税の義務を果たし、その利益をロータリーの活動を通じて社会へ還元すること。これが、私の考える職業奉仕です。そして、ロータリークラブの活動には、お金が必要です。しっかり儲けなければ活動することができません。ですから職業奉仕が、ロータリー活動の1丁目1番地なのです。更に、職業奉仕と他の奉仕プロジェクトの奉仕の違いを整理するとこうなります。それは、受益者が誰なのか？と観点です。つまり、社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕の受益者は、ロータリアン以外の人です。一方、職業奉仕の受益者はロータリアンなのです。なぜか？もう既に皆さんがお解かりのとおり、職業奉仕の理念を実行することで、ロータリアンは、競争相手に負けることなく最大の利益を上げることができるからです。こう考えれば、職業奉仕と他の奉仕の違いを理解できると思います。以上で長らく続いてきた職業奉仕のお話は、今回で終了します。今日もご清聴頂き有難うございました。

出席報告		浅野慎之 出席委員長	
	会員数	出席数	出席率
当日(10/4)	45	35	77.8%
前回(9/20)	45	33	73.3%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(9/20)	45	45	100.0%

ニコボックス報告 浅野慎之 出席委員長

卓話でお耳を汚します。宜しくお願い致します。

地区米山記念奨学委員会副委員長(瀬戸RC) 青山稔 様

地区米山記念奨学会副委員長 青山 稔 様をお迎えして。

奥村与幸 増田盛英

青山さん本日の卓話楽しみにしております。

地区米山記念奨学委員会の卓話を

楽しみにしています。 遠山堯郎

地区米山記念奨学委員会のお話を楽しみにして来ました。

永田聡子

先回の例会を欠席しまして申し訳ありませ。酒井俊皓

息子が元気に11才を迎えました。これからくるだろう

反抗期にむかえ体調作りにはげもうと思ひ 現王園陽子

台風大丈夫でしたか？ 出口茂

台風24号では停電でご迷惑をおかけして申し訳ありません。

台風25号はそれで、皆様に被害が出ませんよう祈るばかりです。

ニコボックス報告 浅野慎之 出席委員長

第45回例会を祝して

浅野信 浅野慎之 不破直行 権田淳裕 樋口昌男

堀場和孝 加藤謙一 河合秀紀 牧野敬充 水野紀孝

野村治 野々垣雄介 大野将義 佐野洋一郎

鈴木達央 高木勝 高木俊郎 田中吉彦 渡邊大祐

R情報委員会より報告 堀場和孝 R情報委員

～「ロータリーの友」おすすめページ～

【P68 クラブを訪ねて】

大阪堂島ロータリークラブが創立31周年を迎え、初代会長である藤本眞一郎さんという方が100歳にもなるそうです。そのクラブが昨年30周年を迎えた時には会員数25名で地区内でも最小のクラブになってしまったそうです。その当時ガバナーの前で会長が50名まで増やすと啖呵を切り、色々な活動をしております。当クラブ同様に月2回の例会にしようと思きがあり、変えなくては行けないロータリーと変えては行けないロータリーと言いつつ、その100歳になられた藤本眞一郎さんがいいだろうと仰り、現在には16名純増し会員数41名にまでなったそうです。私たちが月2回の例会という強みがあるクラブである為、もっと会員を増やして活発に活動していければと思います。

親睦活動委員会より報告 樋口昌男親睦活動委員長

11/10(土)・11(日)に地区大会に伴う一泊研修会が蒲郡にて行われます。明日までに出欠のご回答をお願い申し上げます。面白いことを検討しておりますので、少しの時間だけでも構いませんので、土曜の夜は蒲郡にお越し頂ければと思います。

社会奉仕委員会より報告 野村治社会奉仕委員長

9/25に地区社会奉仕委員長会議に出席して参りました。社会奉仕委員会としてはRCCはもちろん、県と協力をし、防災、減災、環境保全について力を入れて活動していくと発表がございました。日頃から災害への備えを万全にして頂くようお願い申し上げます。

また、本日はWFFにて使用できるチケットを配布しております。4,000円分ですが、使用できる金額は3,200円で、400円/枚は寄付金になっております。10/27(土)・28(日)は皆様、久屋大通公園へお越し下さいますようお願い申し上げます。

幹事報告 鈴木拓将 幹事

●10月ロータリーレート＝112円

●本日WFF(10/27(土)・28(日)10時～17時@久屋大通公園)のチケットを1人2枚配布しております。紛失した場合など再発行はできませんのでご注意くださいようお願い申し上げます。

●例会中の委員会報告について、当日急遽報告をされる場合は事務局、会長、幹事、会場運営委員長へお申し出ください。

●地区大会に伴う一泊研修会(11/10(土)・11(日))について、明日が回答期日となっております。ほとんどのの方が未回答のため、宿泊の有無を明日までに事務局へご連絡ください。

●事務局有給休暇 10/11(木)・12(金)終日です。

●本日、例会前に第4回定例理事会が開催されました。

●次回例会10/18(木)12:20～13:30@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」例会後はクラブアッセンブリーがございます。役員・理事・委員長の皆様はご出席をお願い致します。

●次回例会10/18(木)12:20～13:30@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」例会後はクラブアッセンブリーがございます。役員・理事・委員長の皆様はご出席をお願い致します。

●次回例会10/18(木)12:20～13:30@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」例会後はクラブアッセンブリーがございます。役員・理事・委員長の皆様はご出席をお願い致します。

●次回例会10/18(木)12:20～13:30@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」例会後はクラブアッセンブリーがございます。役員・理事・委員長の皆様はご出席をお願い致します。

●次回例会10/18(木)12:20～13:30@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」例会後はクラブアッセンブリーがございます。役員・理事・委員長の皆様はご出席をお願い致します。

平素は、米山記念奨学事業に対しまして、ご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

私は地区米山記念奨学会副委員長の青山稔と申します。瀬戸RCより出向しております。

本日は貴重なお時間を頂き、米山記念奨学事業のご説明と寄付金のお願いに参りました。

今回米山の卓話でお邪魔するにあたり、御クラブのHPをのぞき見させて頂きました。なんと！大変お若い方が多くお見えになる、平均年齢40歳代ですか？ 本当に素晴らしいと思います。また、奥村会長様の会長方針も読ませて頂きました。お若いRCさんの熱気と申しますか、情熱、パッションをひしひしと感じました。「奉仕の重要性を学び、ロータリーを楽しみ、それを継続し深化へ！」是非！是非！その学びの中の片隅に【米山】も加えて頂ければ有難いなと思い今日は私なりに一生懸命【米山記念奨学事業】をお話させて頂きます。先輩方もお見えになるのに、私ごときが大変恐縮ではありますがお役目とお聞き頂ければ幸いです。

さて米山記念奨学会という言葉を始めお聞きになった方もお見えになるかと思っておりますので、最初に概要をおはなしさせて頂きます。

①米山記念奨学事業の概要

米山記念奨学事業は、一言でいうと【人材育成事業】です。

『人を育てる』という事は『人が化けるのを助ける』ことです。

人材育成という意味では、青少年奉仕であるとか、青少年交換、RYLA、インターアクト・ローターアクト等々ありますが、この米山奨学事業は日本ならではの、日本独自の事業です。

②公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

・日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給して支援する民間の奨学団体です。

・「米山記念」と日本のロータリーの創始者 米山梅吉翁の名前がついていますが、米山家の資産をもとに作られた財団ではありません。

・米山記念奨学会の財源は、全国のロータリアンからの寄付金です。

【豆辞典より】

米山記念奨学会のあゆみ(P1)

・60年以上の歴史をもつ「日本のロータリー」独自の国際奨学事業

1952年、日本で最初に設立されたクラブ、東京ロータリークラブが日本のロータリーの創始者と呼ばれる米山梅吉翁の功績を記念して始めた国際奨学基金が、継続をもって、国内の全ロータリー地区の合同事業に発展したものです。

事業の使命(P 3中四角い枠)

将来、日本と世界を結ぶ『掛け橋』となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

ではなぜ、外国人留学生支援なのか。

故、米山梅吉翁の、将来、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いから(P3下四角い枠)

将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くにの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際事業ではないだろうか。

これが当時のロータリアンたちの強い願いでありました。

事業規模の大きさ。(P 4下)

2018年度の奨学生数は全国で852名、事業費は14億円と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。

これまでに支援した奨学生数は今年7月現在で20,396人。

当初はアジアの学生が主でしたが、現在では世界127カ国の国と地域に及びます。

すべて日本のロータリアン皆さんからの寄付で行われてきた大いなる偉業であります。

③米山記念奨学事業の特徴 (P4上)

事業の神髄:世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーが付いて、奨学生との交流を深め、彼らの日本での生活が心豊かになるように配慮しています。

・この奨学事業は、その成り立ちから「交流」を目的としたプログラムといえます。それを実現するための制度が世話クラブ・カウンセラー制度です。

この後、3年前(2015-16 加藤ガバナー年度)の米山委員会の活動を記録して頂いたDVDを観て頂こうと思います。奨学生選考の面接風景、オリエンテーション、春・秋の研修旅行、クリスマス会、期間終了式等、一年を通しての活動や、奨学生・学友・指導教員の先生、いろいろな方々へのインタビューなどで構成されています。その中で、大勢の留学生を受け入れておられる名大の藤川教授が『留学制度自体、本来は日本のファンを作る事も大きな要因であるはずなのに、政府系奨学金などは、お金を出すんだからとにかく勉強しろ！人と交流している時間があるならその時間も勉強しろ！とどちらかというと人との交流は避けろと言わんばかりであるが、この米山奨学会は、日本人との交流も大切な事であり、世話クラブへの出席、カウンセラーを軸にメンバーとの交流。それが故に日本がより一層大好きになる。本来、国がやるべきことをこの民間の米山奨学会がやってくれている、ODA以上の価値がある。』云々の事を言っておられます。大変うれしいお言葉を頂いております。『顔の見える交流』これが世話クラブとカウンセラー制度であります。

10分程のDVDを観て頂きたいと思っております。

【DVD】

大体のイメージを感じ取って頂けたのではないかと思います。

奨学生選考

採用人数・割当人数 (P23)

地区の米山奨学生が決まるまで(P22)

米山奨学生が決まるまでの流れが書かれています。毎年7月次年度の指定校選定・説明会、8月募集開始し、10月締切、書類選考、同時に面接官のオリエンテーション、毎年1月に面接。可否の決定、4月にオリエンテーション…毎年このようにして奨学生を選考しております。

全国統一の「選定基準と評価表」での評価

指定校推薦制度

ロータリー米山記念奨学会は、2012年に公益財団法人となりました。

それまでの奨学生の選考は各地区の主体性が尊重されてまいりましたが、公益認定を取得したことにより、**より公平性・より透明性**が求められるようになりました。それを確保するため34地区共通の「選定基準と評価表」が必要となったわけです。

又、指定校推薦制度は、各地区米山選考委員会が指定校を選定し、学校説明会を開き、要望を伝えるなど、米山にふさわしい学生を推薦してもらうため努力をしております。

かつては「ロータリークラブ推薦制度」がありましたが、推薦欲しさにロータリアンに近づく不届きな応募者が出るなどの問題から廃止され、現在の指定校推薦制度が導入されています。

*先ほども申しましたが、ロータリー米山記念奨学事業の使命は、奨学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との架け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることにあります。

そのために求められる米山奨学生の資質は、

■「学業」学業に対する研究の目的、目標を明確にし、成果を上げる努力をしているか？

■「異文化理解」異なる文化、習慣などを理解する努力をしているか？

■「コミュニケーション能力」言語のみならず、人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受け入れる柔軟な姿勢を持つかどうか？

そういったものの熱意や優秀性であります。

・責任ある我々地区委員としましても、奨学生の募集選考は、場当たりの指定校選定や、数合わせの奨学生選考にならないように心がけています。

・又、委員会として、事前にどんな奨学生を支援したいかを話し合い、合意し、ロータリアンから奨学生支援の意義や感動を具体的に伝えられるような人選を心がけています。

補足ですが、本年も120人の面接を致しました。7班に分け、1班16～17名を一日がかりで面接を致します。一人当たりの面接時間は15分～20分です。本人自筆の書類も、嘘ではないでしょうが受かりたいが為に多少盛る事もあるでしょう。指導教員の先生も推薦状で一生懸命売り込まれるでしょう。我々も一度の、しかも15分や20分程度の面接では絶対という自信ははっきり言ってありません…。申し訳なくおもっております。近付けようと努力はしております。

・学友制度

学友会 P13

国内の学友会は33、海外学友会は9・計42の学友会があります。

ロータリアンになった学友は231人

学友・学友会からの寄付も累計3千3百万強

活動紹介として、台湾の学友会は日本人若手研究者奨学金と称し逆米山奨学金のような事をやってくれています。これは彼ら彼女らの日本のロータリーに対する感謝の行い以外に考えられません。心温まる思いが致します。

・寄付について (P17)

最後に寄付についてお話しします。

寄付金には普通寄付金・特別寄付金の2種類があります。

・普通寄付金:各クラブが決めた金額×会員数

・特別寄付:個人・法人・クラブからの任意の寄付

前年度の名古屋宮の杜RCさんは実績をみて見ますと、個人での特別寄付をお一人頂いております。ありがとうございます。

普通寄付・特別寄付を合わせ、会員数で割った個人平均寄付額(名古屋宮の杜RC 個人平均寄付額

¥6,380)

村井ガバナーが提唱されておりますガバナー賞、個人平均寄付額が¥20,000以上・特別寄付率が80%以上であります。

個人寄付率が80%以上とは、特別寄付の個人寄付・法人寄付の寄付率であり、19Pに書かれていますように、税制上の優遇措置が受けられます。

是非、ガバナー賞を目標に頑張ってお寄付頂きたいと思っております。

短い時間ですべてをお話するのは無理がございますが、宮の杜RCさんの遠山さんは米山のスペシャリストでいらっしやいます。今日の私のつたない話でも、興味のわいた方は是非、遠山先輩にお聞き頂き米山を知って頂ければありがたいと思います。

最後に、もし皆さんのお子様・お孫様・親類のお子様…が他国に留学されたとして、その先の国に日本のロータリアンのような方がお見えになって、お子様と接して頂けたら、皆さん、どれだけご安心されますでしょう。是非、そんなお気落ちをお持ち頂き、近いうちには奨学生を受け入れて頂き、奨学生と接してお頂ければ幸いです。

長々とお話させて頂きました。ご清聴ありがとうございました。



地区米山記念奨学委員会

副委員長 青山 稔 様

本日はお越し頂き、卓話をして頂き

誠にありがとうございました。

WFF

(第6回ワールドフード+ふれ愛フェスタ)

10月27・28日(土・日)

次回例会【第47回通常例会】

日 時： 11月1日(木) 12時20分～13時30分

会 場： ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンホールの間」

卓 話： 「ロータリー財団 今、やるべきこと」

卓話者： 補助金委員会 委員 藤野 直子 氏

例会後： 第5回定例理事会 @3階「竹の間」

発行日:2018年10月18日(木)